

# 保健体育科学習指導案

指導者 熊谷 司

1, 日 時 平成18年2月10日(金)3校時

2, 学 級 2年1・2組女子 1組15名、2組13名、合計28名 上田中学校 剣道室・柔道室

3, 主 題 ダンス

4, 主題について

ダンスは、個人や集団で表現したいイメージを全身を使っていろいろな動きに変化させていくことに喜びや楽しみを感じる運動であり、年齢・性別に関係なく誰でもが楽しめる生涯スポーツである。人間は本質的に他の人に自分の思っていることや感じたことを伝えたいと願っている。個性を生かして自分の身体でリズムカルな動きにして表したり、友達と一緒に思ったことや感じたことを表現する楽しさを知ることができる。現代的なリズムのダンスは、リズムの取り方や動きを工夫したり、相手と対応したりして、全身で動きやイメージを工夫しリズムを捉えて自由に踊ることができる。また、まとまりのある動きを工夫して仲間とリズムに乗って踊ったり見せ合って、互いの動きとリズムの楽しさをわかちあい、心を解放することができる。これらのダンス学習「踊る・創る・観る」を通して、自分の考えや感じたことを個人や仲間と一緒に体で表現し、お互いに感じあい、触れあっていく中で、望ましい人間関係の育成が図られると考える。

2年1・2組の生徒は、明るく積極的に授業に取り組んでいる。積極性のある生徒が学級を引っ張り雰囲気を作り、物事に対しても意欲的に取り組んでいるが、自分の感情や言葉を出すことに時間がかかり積極性に欠ける生徒もいる。2学年の女子全体に言えるが、年度当初は、学級編成換えを行ったこともあり、反応も少なく挨拶や返事をすることも躊躇する傾向にあった。これまで、体育のみならず、学年・学級の諸活動を通して何とか積極的に活動できる集団にしようと指導を続けてきた。その成果は、徐々に表に現れつつある状態である。身体能力に関しては、高いとは言えず、スポーツテストの結果も盛岡市の平均をほとんどの種目で下回っている。ダンスは、3年間履修しており、1年生では、「よさこいソーラン節」の模倣を中心に、踊る楽しさを通して心の解放を目指し指導を行った。2年生では、現代的リズムの曲を使い、創作を兼ねて、学級ごとに一つのチームを作り、学級全員でダンスを完成させることを目標にしている。3年生では、選曲も含めて、ダンスの構成全てを制作することを目標にしている。

そこで、指導にあたっては、ダンスのイメージをつくるために、昨年度の2年生の創作したダンスのビデオを鑑賞させた。また、ダンスの基礎基本と創作のよりどころにするため、基本的な動き(ステップ・上肢の動き・隊形・アクセントなど)を学習した。創作を始めるにあたり、曲を具体的に分析(学習シート=表を使用)する時間をとった。その後、リーダーを中心にして、創作の話し合い・踊り・発表のサイクルで授業を進めた。また、毎時間の取り組みを記録として残しながら、自分たちの成長を確認することを目的に「ダンスノート」を作り、交代で記録させている。この取り組みは、2年生の2学期後半からバスケットボールを通して経験している。目標設定・達成させるための練習方法の工夫と実際の練習・ゲーム・チームミーティングによる成果と課題の確認・課題から目標の設定というサイクルである。1年生で、保健体育の基礎基本を自主性を尊重しながらも教師主導で行い、2年生では、1学年で学習したことをよりどころにしながら、仲間とともに考えながら授業に取り組む意欲や態度、運動についての思考・判断能力を高める。そして、3年生では、授業を自分たちで運営することを保健体育科の最終目標にしている。その2年目が終わろうとしている今、感じをこめて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりできるように課題を解決するための計画・活動・評価の仕方を学ばせたい。そして、ダンスを通して身体能力の向上を図るために、主に瞬発力、つまり、リズムに乗って素早く動くことの出来ることを目標として指導を行いたい。自己の感じ方や工夫を率直に表現し、お互いの良さを認め合ったり、協力したりして課題に取り組む態度を学ばせることにより、このことを諸活動に生かし、学級の絆を深めさせたい。

5, 指導と評価の計画 (14時間扱い本時8時間目) 別紙

6, 本時の達成目標

運動への関心・意欲・態度	ダンスの特性に関心を持ち、互いの表現を認め合って、協力しながら、楽しく授業に取り組むことができる。
運動についての思考・判断	ビデオを観て、自分たちのダンスの改善のポイントを、発表することができる。
運動の技能	チームごとに、改善する具体的な構成や動きについて協力しながら、ダンスの練習をすることができる。

7, 本時の指導の構想

- (1) 前時まで、ダンスの創作を行ってきた。本時から、見ている人が真似したり踊りたくなるようなダンスを目指して、動きが、ダイナミックで、美しさがあるものに改善していきたいと考えている。そのために、躍動感あふれるエアロビクスの動きを参考にさせ、具体的にどのような動きを改善したらいいのかを考えさせたい。また、試行錯誤させながら繰り返し練習をするなかで、多くの仲間のアイデアを取り上げ、協力し合いながらチーム内の団結力をさらに向上させたいと考えている。この授業の最後にはお互いのダンスを発表させることにより他のグループと自分たちのグループのダンスの相違に気づかせ、作り上げたダンスをさらに高めるための視点を理解させ、それまで以上に意欲を持って創作活動に取り組ませたいと考えている。教師の指導のポイントとしては、エアロビクスの躍動的な動きの的確な解説と、そのアドバイスを練習中に一緒に動きながら指導することと考えている。
- (2) 2年間の保健体育学習の集大成(決められた枠の中で、積極的に自分たちで工夫して授業をつくる)をダンスを使って表現するという目標とその達成までの取り組みが、そのまま必然性となる。前年度の2年生のダンスや基本的な動きを基にした自分たちで創作したダンスをよりどころに、エアロビクスの動きを具体的なことばで確認して、本時の目標を達成させたい。

8, 本時の展開

A 達成度 B 学習速度 C 取り組み方(学習の仕方) D 見方・考え方 E 興味・関心 F 生活経験

段階	過程	時間	学習活動	評価の視点・方法	指導上の留意点	学習形態 教材・教具	
導入	課題確認	10分	1. ウォーミングアップを行う。		1. ウォーミングアップ 前時までのダンスを踊る。 サーキットトレーニング。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・剣道室</li> <li>・学級ごと</li> <li>・C D</li> <li>・ラジカセ</li> <li>・4列横隊</li> </ul>	
			2. 集合・整列し挨拶をする。		2. 欠席者・見学者の確認をする。		
			3. 本時の学習課題を確認する。		3. 前時の授業ノートの記述内容や発表から、学習課題を導き出す。グループの目標を確認する。		
			Let's dance together more harder!			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスノート</li> <li>・紙板書</li> </ul>	
展開	課題追究	30分	4. エアロビクスのビデオを観て、自分たちのダンスを改善する視点を話し合う。	4 <発表内容> ビデオを観て、自分たちのダンスの改善のポイントを、発表することができる。 A: 躍動感・リズム 大きい動き・関節の伸ばし C: 仲間に聞いて一緒に考えさせる。教えてもらう。	4. < C・D・F > ・みんなでつくるダンスであることを確認させる。 ・仲間と一緒に考えさせる中で学習速度、見方・考え方、自己表現の仕方を引き上げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ</li> <li>・ビデオ</li> <li>・集合隊形</li> </ul>	
			5. グループごとに、改善する具体的な構成や動きについて協力しながら、剣道室と柔道室に別れてダンスの練習をする。	5 <観察・巡回指導> グループごとに、改善する具体的な構成や動きについて協力しながら、ダンスの練習をすることができる。 A: デモンストレーション ティーチング・提案 C: 理解できない動きを聞く、教えてもらう。鏡を見たり仲間に見てもらいながら、覚える。	5. < A・C・D・F > ・チーム全員での動き、個人の動きを確認させる。 ・小グループに分かれて、教え合い、確認し合わせる。 ・必要に応じて、教師がチーム全体の指導・個別指導を行う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1組柔道室</li> <li>・2組剣道室</li> <li>・C D</li> <li>・ラジカセ</li> </ul>
			6. まとめの発表をする。	6. 自分たちのグループの動きを楽しんで、発表することができる。  お互いの発表を、自分たちの発表と比べながら、見ることができる。	6. < C、F > ・仲間の前で堂々と表現させる。  < D、F > ・自分たちの発表と比べながら、全体の動きや個人の動きを見るように助言する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・C D</li> </ul>
終末	まとめ	10分	7. グループで話し合い、お互いの感想を発表する。	7. <発表内容> ダンスの特性に関心を持ち、互いの表現を認め合って、協力しながら、楽しく授業に取り組むことができる。 A: 力強さ・しなやかさの違い、新しい動きの発見 C: 仲間に聞いて一緒に考えさせる。	7. < A・C・D・E・F > ・話し合いの中で、リーダーの発言する言葉をよりどころにしながら、発言力の少ない生徒にも発言を促す、助言をする。 ・お互いの良さを発見するかわりの中で、自分たちのダンスの評価ができるように助言して導く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダンスノート</li> </ul>	
			8. 次時の学習内容を確認し、整列・挨拶をする。	8. 次時の学習内容を確認できたか。 整列し、挨拶することができたか。	8. 「ダンスノート」の記入について(個人反省と次時のグループの目標)指示を出す。 ・安全を確認し、後かたづけの指示をする。		